

基本情報						
教科・科目		高1 公共	・授業で使用するもの 授業プリント冊子：ノートは基本使用しないため、使用は任意 iPad：調べ学習、提出物の管理 補助教材：教科書) 第一学習社 高等学校「公共」			
担当者		大網 貴之				
評価割合（試験：試験外）		平常点 100%	前年度実施した「公民」に引き続き、経済分野を扱う。 今年度は、定期試験を廃止し、授業内に行う小テスト・レポート試験、プレゼンテーションの内容で評価をする			
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）	経済に関わる現代の諸課題について、解決の手がかりとなる概念や理論を理解することができ、さまざまな資料の組み合わせや比較をする中で流れのある生きた知識を得ることができる力			
		理知（思考力・判断力・表現力等）	自らの生活における経済活動をミクロ的(微視的)・マクロ的(巨視的)それぞれの視野で考察した上で、自分自身の(経済的な)人生設計や社会の動向について自分なりの見解を論理的に説明できる力			
		探究・叡智（主体的に学習に取り組む態度）	よりよい自身の人生と社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、自分自身の価値や個性を見極めた上で、社会においてどう経済的素養を活用するかを主体的に生み出すことができる力			
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4		「経済を学ぶにあたって」 ～経済導入～	○主体的に学びに向かう力 自分の身の回りで行われている経済活動に目をむけ、活動をする人々は何によって突き動かされているかを興味を持って意識するようになる。 ○知識・思考 経済の考え方についてミクロとマクロの違いの大枠を理解し、日常で起きている経済活動について分けて考えるようになる。	□ 経済とは何か？ 価値はどのように決定するのか？ 財・サービスにおける生産・分配・交換・消費 これらが循環することにはどんな原理が働いているのか？ □ ミクロとマクロの違い 経済の動き(ダイナミクス)を掴むにあたっての見方と考え方には(経済学的に)どのような違いがあるのか？	・講義(インプット) ・今後のアクション宣言	・プレストの回答数/文章量 ・自身による方向性の提示
5		「私たちの生活から見る経済」 ～ミクロ経済学～	○知識 ミクロ経済学における生産・消費・交換・分配それぞれのメカニズムとその構造について理解することができるようになる。 ○思考 ミクロ経済学における各メカニズムと構造について論理的に説明できるとともにそれらのシステムの型を用いて、実社会におけるミクロ経済学的な事象について論理的に説明することができるようになる。	□ 生産理論（会社企業、規模の経済、供給曲線） どう生産を組織して資源を効率的に使用するか？ □ 需要理論（効用、需要曲線、価格弾力性） 消費者は商品やサービスをどのように選択するか？ □ 生産市場分析（競争市場・寡占市場・市場の失敗） 売買が行われる市場はどのように形成されるか？ □ 資源配分理論（価格決定・労働/資本市場） 限られた資源はどのように配分されるか？	・講義(インプット) ・ジグソー法(グループ学習) ・学習共有（アウトプット） ・生徒フィードバック	・小テスト ・グループでの相互評価 ・発表内容での評価
6		「ミクロとマクロを繋ぐ」 ～金融教育と社会への視点～	○主体でみに学びに向かう力 自身の生活やこれからの人生における“お金”について、自分事にとらえて将来におけるお金の使い方や仕組みについて興味を持つようになる。 ○知識 & 思考 ミクロ経済における原理を理解した上で、経済主体(消費者)の一人として将来におけるお金の使い方に関わる知識をもち、それらを用いて自身の人生設計とその(資金的)根拠について説明することができるようになる。	事前に、金融に関する基礎的事項をインプット → 金融機関の仕組みと金融機関の働き ※ 詳細は金融教育業者との協議で授業設計 ↓以下は実施時に盛り込みたい内容 □ ライフプランニング(ライフイベントと収支) □ 以下よりいくつか選択 ・可処分所得と支出 ・各種ローンや借入 ・各種保険や制度 ・資産運用(預金/外貨/投資)	・ライフプランゲーム ・講義(インプット) ・相互フィードバック ・業者フィードバック	・小テスト ・フィードバック ・期末レポート
7		「お金と人生デザイン」 準備 ～未来のための金融戦略～	○主体的に学びに向かう力 ミクロ経済学に関する知識や金融教育で得た情報をもとに、自分自身の個性や特徴に合わせた自分自身のためのオリジナル「お金と人生デザイン」を創造することができる。	□ 夏季休業中課題 前期中のミクロ経済学の学習と金融教育の内容をもとに現時点でのお金と人生をデザインする	・FPによる個別相談 (FP協会に協力要請) ・ワークシートとプレゼン	・個別最適なライフプラン設計 ・夏季休業明けに発表
9		「お金と人生デザイン」 発表 ～未来のための金融戦略～	表現) 設計したライフプラン（自分にとっての価値と人生設計）を他者に向けて説明することができる。 創造) 自分自身の発表と他者からの発表、お互いのフィードバックを受けて設計したプランを見直し、再設計することができる。	□ お金と人生デザインに関する発表 自分自身が幸せと思うライフプランを設計するとともに資産設計を含めたお金について触れて説明する。 □ 発表に基づくフィードバックと振り返り	・グループ内発表 ・代表者発表 ・各自フィードバック	・発表資料 ・他者フィードバック
10/11		「経済思想の変遷」 ～自由と平等について考える～	○知識 マクロ経済の導入として、それぞれの時代における経済思想の考え方や時代背景について理解することができる。 ○思考 時代背景を考慮した上で、なぜその経済思想が芽生え、どう発展し、どんなメリット・デメリットがあるかについて説明できるようにする。	□ 大航海時代ー 重農主義 vs 重商主義 □ 大航海時代ー 自由貿易主義 vs 保護貿易主義 □ 産業革命前後ー 資本主義 vs 社会主義 □ 世界恐慌後ー 新自由主義 vs 修正資本主義 □ 金融と財政の役割	・講義(インプット) ・小テスト	・小テスト
12/1		「金融のはたらき」 ～経済成長と景気変動の原理～	○知識 経済をマクロな視点から俯瞰するための、経済指標や日本銀行による基本的な金融政策についての基本的な知識について理解することができる。 ○思考 時代背景や経済指標の経過や変化を用いて、どのような状況においてどのような政策が取られ、結果としてどう変化したのかを論理的に説明することができる。 ○主体的に学びに向かう力 自ら設計した資金設計プランや投資プランにおいて、金融政策におけるシステムを用いて具体的にプランを提案することができる。	□ 経済成長と景気変動 景気が変動する原理について学ぶ。 □ 金融政策の目標と指標 GDP、インフレ率、失業率等の各指標についてインプットと活用を行う。 □ 金融政策の手段と効果 金利政策や質・量的緩和と政策など政策における手段とその効果についてインプットする。 □ 金融政策と経済政策の関係性 財政政策やその他の経済政策との連携について学ぶ。	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク/小レポート	・レポート試験
1/2		「財政のはたらきと社会保障」 ～所得再分配と公共サービス～	○知識 経済をマクロな視点から俯瞰するために、政府による財政支出の意義や再出入の役割とその特徴について理解することができる。 ○思考 時代背景や財政政策の経過や変化を用いて、どのような状況においてどのような政策が取られ、結果としてどう変化したのかを論理的に説明することができる。 ○主体的に学びに向かう力 自ら設計した資金設計プランや投資プランにおいて、財政政策におけるシステムを用いて具体的にプランを提案することができる。	□ 財政政策の目的と役割 租税の意義と役割について学んだ上で、具体的な公共サービスや社会保障制度に触れて役割を理解する。 □ 財政政策の種類とその違い 具体的な経済状況を例にとって、歳出/歳入による経済調整にはどのような種類と違いがあるかについて学ぶ。	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク/小レポート	・小テスト ・学期末レポート試験